

## (2) 地域排水機能向上のための施設操作

- ・ 大雨時等の水路、ため池等の地域排水機能を増進させるため、ゲート等の操作を行うこと。
- ・ 大雨時の地域排水を促進するため、排水ポンプを臨時に稼働する等により、排水ブロック外に排出すること。

### 【活動のねらい】

ため池の空容量を活用したり、ゲート等の操作や排水ポンプの臨時稼働を行い、地域外に雨水を排水することにより、地域排水機能を増進させることが大切です。

### 【活動の内容】

#### 排水ゲートの操作

大雨時には排水門や放水口のゲートを開いて地区内の排水を促します。

#### 排水ポンプの稼働

水田では、稲の生育状況によっては地区内にある程度湛水することができるため、地区内にあるポンプを湛水状況に応じて稼働させます。

#### 取水ゲートの操作

地区内に大雨による水が流れ込まないように取水ゲートを閉じます。

#### ため池や調整池への導水

ため池や調整池の水位に応じて、大雨時の導水を検討します。

#### 角落としの操作

角落としは、大雨による水の流下を妨げて、溢水することがあるので、水位調整位置を下げる等の操作を行います。

### 【配慮事項】

施設操作の留意点としては以下の点があげられます。

- ・ 大雨時に水利施設を操作する体制をあらかじめ決めておきます。
- ・ 排水門や放水工の吐き出し口は、流砂やゴミによって閉塞することがありますので、大雨時の排水を確実にを行うために、日頃より点検・保守活動を行う必要があります。
- ・ ポンプやゲート類がきちんと作動するか、点検活動時にチェックしておき、問題があれば補修、改修を行います。